

謙虚に！  
ひたむきに！

4期目の  
新人

甲府市議会議員

おぎはら 隆宏  
たかひろ



平成 15 年 4 月の選挙で初当選させていただいて以来、早いもので 12 年が経とうとしています。「楽しく安心して暮らせるまち甲府」を創りたいとの一念で、勤務していた山梨県庁を退職し政治の道を歩み始めました。皆様方の温かいお支えがあればこそ、今日まで歩んでこられたものと心より感謝いたしております。

そして今、市政の転換点にあって、初心に返り「活力ある地域づくり」「安心して暮らせる地域づくり」の 2 本の柱に政策をまとめさせていただきました。これらの政策について、新人の時の清新な決意で「謙虚にひたむきに」取り組み、市民の皆様のお役に立てるよう全力を傾注する所存です。どうか皆様には変わらぬ深いご理解と暖かいご支援を賜りますよう心よりお願い申しあげます。

# 謙虚に！ひたむきに！ おぎはら隆宏

## 1 活力ある地域づくり

### (1) 産業振興

#### 新たな産業の創造、起業者支援を進め、雇用の確保と地域経済の活性化を図ります

- ① 創業支援を積極的に行います。新たに事業を起こすことを支援するための制度融資拡充、創業支援窓口の設置等を行います。  
※ 山梨県における開業率は4.0%で47都道府県中31番目、廃業率は4.5%で全国第2位（ワースト2位）です。（平成24年度の数字）廃業率が開業率を上回っているということは、経済や雇用の縮小に繋がる恐れが高く積極的な創業支援が必要です。
- ② 予防医療を中心とした健康産業の集積を図り、温泉、森林療法などを組み合わせた健康プログラムを提供するなど、誘客・集客（ウェルネスツーリズム）に努めます。
- ③ 有害鳥獣対策の一環で捕獲したシカやイノシシを材料とした料理、食品の提供を行うことで、害獣駆除と地域活性化の一石二鳥を目指します。（ジビエを活用した振興策の推進）

### (2) リニア開業を見据えたまちづくり

#### 2027年開業予定のリニア効果を最大限引き出すため、リニア駅周辺整備と、市内交通網の整備に全力で取り組みます

- ① リニア効果を最大限活用するため、路線バスや鉄道など公共交通機関の整備拡充に取り組みます。
- ② 身延線をリニア新駅まで延伸し、甲府駅との接続を目指します。「お城フロント」などの駅周辺整備を初め中心街の活性化と合わせて、新たな回遊と賑わいを創っていきます。なお、需要拡大に合わせて両駅間の複線化も働きかけていきます。
- ③ 国の関係機関の誘致、教育・研究機関等の整備を行い、人、知能、情報の集積拠点にしていきます。また、老朽化が進む甲府市立商科専門学校の移転先として、リニア駅周辺を検討し、学校の価値を高めると同時に情報集積拠点の一角を担います。

### (3) 人口対策

#### 知事が提唱する県人口100万人構想を見据えて、甲府の人口増加に取り組みます

- ① 二地域居住の推進を図り、定住人口の増加を目指します。そのために空きやバンクの充実や「やまなし暮らし支援センター（東京都千代田区）」との連携強化を図ります。
- ② 市役所内に移住相談窓口を設置し、「移住希望者甲府体験プログラム」を作成するなど、移住希望者の受け入れ体制を強化していきます。
- ③ 滞在型の市民農園を作り、大都市住民との交流を促進することで、地域活性化と人口増に繋げていきます。例えばクラインガルテンなどの整備を進めます。





## 2 安心して暮らせる地域づくり



### (1) 保健所設置と中核市

- ① 甲府市が独自に保健所を設置し、市民の皆様に身近できめ細やかな健康管理や疾病予防などの行政サービスを提供していきます。
- ② 必須要件である保健所の設置を行うことで、「中核市」への移行を推進します。  
※ 昨年の自治法改正で、特例市が廃止され中核市と一本化されることに伴う措置で、人口要件等が見直されたことに伴うものです。なお、昨年12月定例会の代表質問でこの問題を取り上げ、一定の道筋を付けさせていただきました。

### (2) 地域包括ケアシステムの充実

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供出来る体制を強化充実させていきます。

### (3) 「こども版」地域包括ケアシステムの構築

社会的養護を必要とする子どもが増加する中で、医療から教育までを一体的に支援するシステムを構築していきます。例えば、市内9ヶ所にある地域包括支援センターへ「こども部門」を併設することなど。

※ 社会的養護とは、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。「子どもの最善の利益のために」と「社会全体で子どもを育む」を理念として行われています。

### (4) 福祉総合相談課（仮称）の設置

重層的で複雑な課題をもつ世帯に対して、総合的に対応できる相談支援体制を整備し、「相談窓口の一元化」を図ります。

※ 少子高齢化、核家族化等により様々な課題を抱える世帯が増加しています。「どこに相談したらよいか分からない」といった市民の皆様の相談に対応出来るような組織を設置します。

### (5) 災害対策の強化

① 日進月歩の情報通信技術を駆使して、老朽化が進む道路・橋梁等の社会基盤を効率的・効果的に維持管理していきます（ＩＣＴを活用した社会インフラの効率的な維持管理の実現）

② 震災時の犠牲者ゼロを目指し、強度不足の住宅の耐震化を積極的に進めます。

※ 平成25年度末の甲府市における住宅の耐震化率は83.7%です。国は平成27年度末までに耐震化率90%、平成32年度末までに95%の達成を目標として掲げています。甲府市としても目標達成に向け最大限努力します。

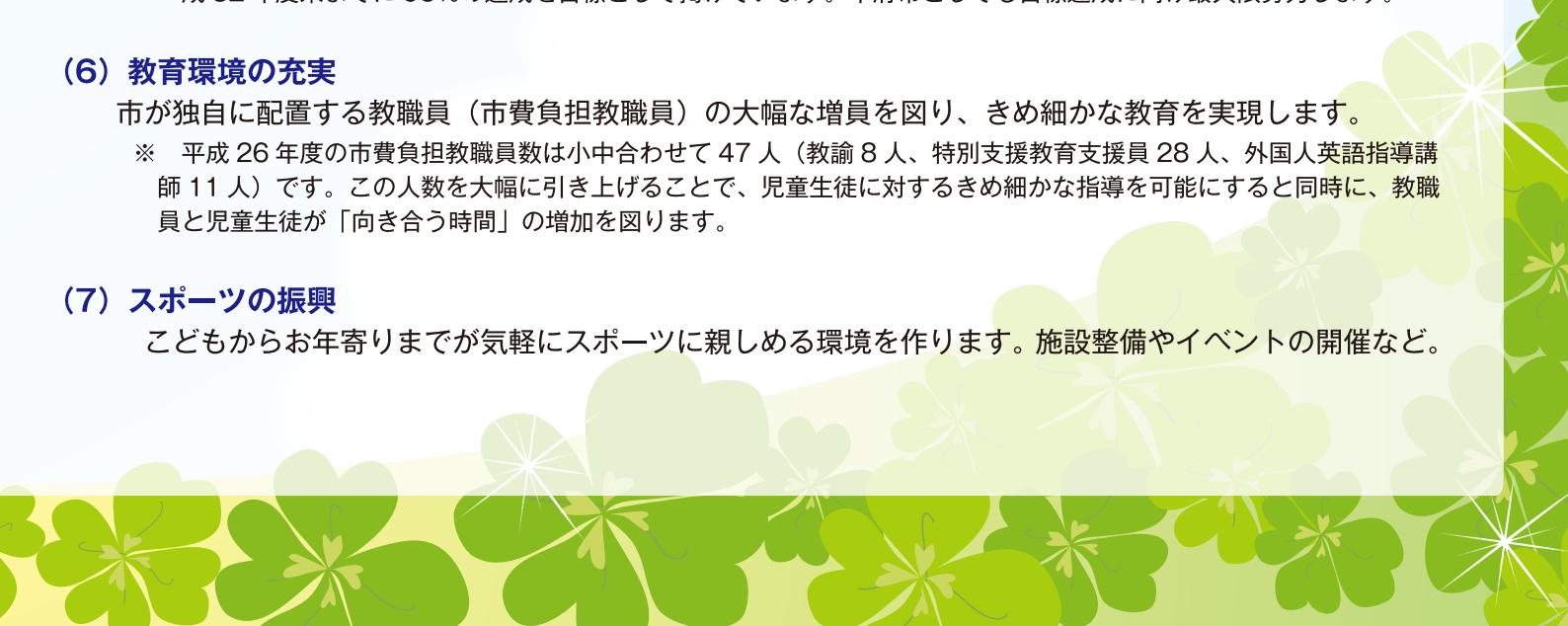
### (6) 教育環境の充実

市が独自に配置する教職員（市費負担教職員）の大幅な増員を図り、きめ細かな教育を実現します。

※ 平成26年度の市費負担教職員数は小中合わせて47人（教諭8人、特別支援教育支援員28人、外国人英語指導講師11人）です。この人数を大幅に引き上げることで、児童生徒に対するきめ細かな指導を可能にすると同時に、教職員と児童生徒が「向き合う時間」の増加を図ります。

### (7) スポーツの振興

子どもからお年寄りまでが気軽にスポーツに親しめる環境を作ります。施設整備やイベントの開催など。



# 市議会議員 3期12年間の取り組み

## 安心・安全な暮らし

- 生活福祉行政のケースワーカー増員を実現（平成16年度予算委員会）
- 木造家屋の無料耐震診断を3年間延長（平成17年9月議会）
- 放課後児童クラブの待機児童を解消（平成20年3月定例会）
- 入学準備金融資事業の適用対象を高校入学者の保護者にも拡大（平成21年度決算委員会）

## まちづくり

- 美しい景観を創るために、甲府市の景観行政団体への移行を推進（平成17年9月議会・平成18年6月議会）
- 公共交通の整備に取り組み、甲府市地域公共交通会議の設立・交通体系の全体計画策定を推進（平成22年6月定例会）
- 中核市への移行を推進（平成26年12月議会）

## 産業・経済

- 「まちなかツーリズム」を提唱し、ルート設定やマップ・ビデオを作成してPR（平成16年12月議会他）
- 経済建設委員長として、他都市からの来訪者に「甲府市観光アンケート」を実施し、観光施策を強化（平成20年度）
- ふるさと納税制度とシティープロモーションの相乗効果を図り、税収の増加に取り組む（平成22年6月定例会）



バイオマстаун真庭を視察。  
主に木質バイオマスの活用など、  
多くのテーマについて研修。



甲府市消防団の出初式。寒い  
中での式典、団員の皆様に感謝。



本会議での質問。



副議長時代。  
本会議を進行。



オリオンストリートでの  
路上禁煙キャンペーン。



上下水道局などが主催した  
「水源林植樹の集い」にて。  
大勢の参加者と一緒に  
精を出した植樹作業。



ボランティア  
フェスティバルにて。  
参加していた  
ボランティアサークルの  
学生さんと意見交換。

4期目の  
新人

## おぎはら隆宏 プロフィール

### ■現在

- \*甲府市議会議員  
(平成15年初当選 現在3期目)
- \*甲府・峠東地域ごみ処理施設事務組合議会議員
- \*リニア中央新幹線対策特別委員会委員
- \*山梨県地方自治研究センター 顧問
- \*社会福祉法人 日新会 理事



### ■略歴

- \*昭和42年2月22日生まれ
- \*駿台甲府高校、早稲田大学商学部卒業
- \*国民政治研究会研究員
- \*山梨県庁職員

**おぎはら隆宏 後援会**  
〒400-0045 甲府市後屋町737-3 後藤ビル101号  
**TEL 055-242-2261 FAX 055-242-2262**  
ホームページ <http://www.ogiogi.jp/>

謙虚に！  
ひたむきに！

